

取扱説明書

うすまきオート播種機

HK170B



当製品を安全に、また正しくお使いいただくために必ず
本取扱説明書をお読みください。誤った使いかたをする
と、事故を引き起こすおそれがあります。
お読みになった後も必ず製品に近接して保存してください。

はじめに

このたびはうすまきオート播種機をお買い上げいただき、ありがとうございました。この取扱説明書は播種機の正しい取扱い方法、簡単な点検及び整備について説明しています。ご使用前によくお読みいただいて十分理解され、本機が優れた性能を発揮し、かつ安全で快適な作業をするため、この冊子をご活用ください。また、お読みになった後必ず大切に保存し、わからない事があった時には取り出してお読みください。なお、製品の仕様変更などにより、お買い上げの製品と、この説明書の内容が一致しない場合がありますので、あらかじめご了承ください。

⚠ 安全第一

本書に記載した△の表示がある注意事項は、人身事故の危険が考えられる重要な項目です。よく読み必ず守ってください。

◇注意表示について

本取扱説明書では、特に重要と考えられる取扱い上の注意項目について次のように表示しています。

警告：注意事項を守らないと死亡又は重傷を負うことになるものを示します。

注意：注意事項を守らないとけがを負うおそれがあるものを示します。

重要：注意事項を守らないと機械の損傷や故障のおそれがあるものを示します。

補足：使用上役にたつ補足説明をしています。

サービスと保証について

ご使用中の故障やご不審な点、及びサービスについてのご用命はお買い上げいただいた販売店・JAにお気軽にご相談ください。

その際、型式名と製造番号をあわせてご連絡ください。

機械の改造は危険ですので、改造しないでください。改造した場合や取扱説明書にのべられた正しい使用目的と異なる場合はメーカー保証の対象外になります。

△安全に作業するために	△-1
1.仕様と各部の名称	1
2.組立要領	3
①スタンドの組立て	3
②モミウケの取り付け	3
③カンスイウケの取り付け	3
④ホジョフレームの展開	4
⑤アース線の接続	4
⑥給水ホースの接続	4
⑦クリダシベルトの張り方	4
3.作業前の準備	5
(1)資材所要量の計画	5
(2)資材の選定	5
(3)種もみの準備	5
4.試運転と調節	6
①機能確認	6
②能率の切り替え	6
③各部の調節	7
(1)ガイドバンの調節	7
(2)かん水量の調節	7
(3)人工マット(多水量)対応について	8
(4)播種量の調節	9
(5)覆土量の調節	10
5.作業	11
6.作業後の手入れと点検	12
※ ロール・ロールガイドの取外し方	13
※ モミオトシバネの取付け方	14
7.故障の診断と処置	15
8.電気回路図	17
9.オプション紹介	18
10.播種量・かきとり量早見表	19

△注意 安全に作業するために

本機をご使用になる前に、この取扱説明書をよく読み理解したうえで安全な作業をおこなってください。
安全に作業するため、ぜひ守っていただきたい注意事項は下記のとおりです。
これ以外にも本文の中で説明のつど取り上げております。

1. 機械の組立て時

- (1) 機械が倒れ、下敷きになるおそれがありますので、スタンドをボルトで固定するまでは、機体にもたれる等の外力をくわえないこと。
- (2) 感電や巻き込まれ、指詰め等のおそれがあるので、組立完了まで電源プラグをコンセントに接続しないこと。

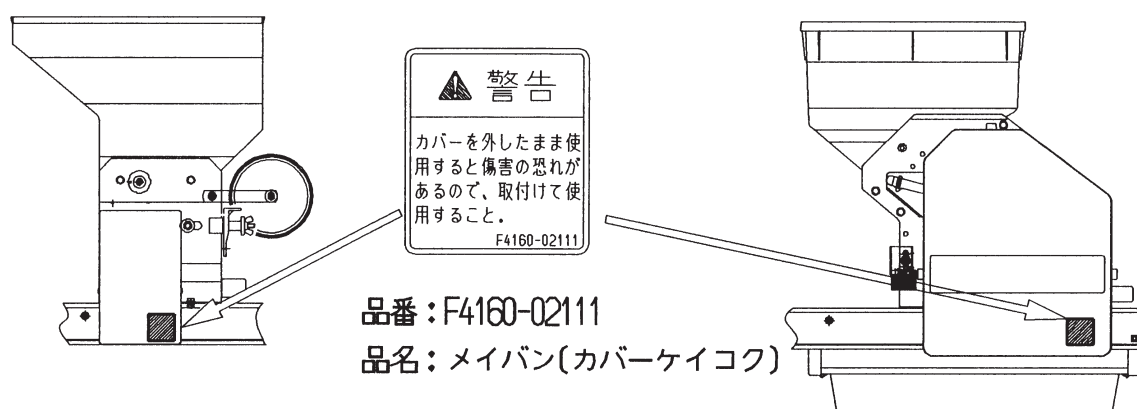
2. 作業まえに

- (1) 安全な服装をすること。だぶついたズボンや上着などは回転部分に巻き込まれやすく、大変危険です。

3. 作業中に

- (1) 試運転は一人でおこないます。複数でおこなうと予期しない時に機械が動きはじめ大変危険です。
- (2) 作業員以外の人を近付けないようにします。おもわぬ所にふれる等の危険があります。特に子供に注意してください。
- (3) 建物のブレーカが落ちたり、モータがストップした時はすぐに電源スイッチを切り、電源プラグをぬいた上で故障の原因をさぐります。機械がふいに動きはじめるのを避けるためです。
- (4) 巻き込まれ、指詰め等の危険がありますので、カバー類はとりはずしたままで作業しないこと。

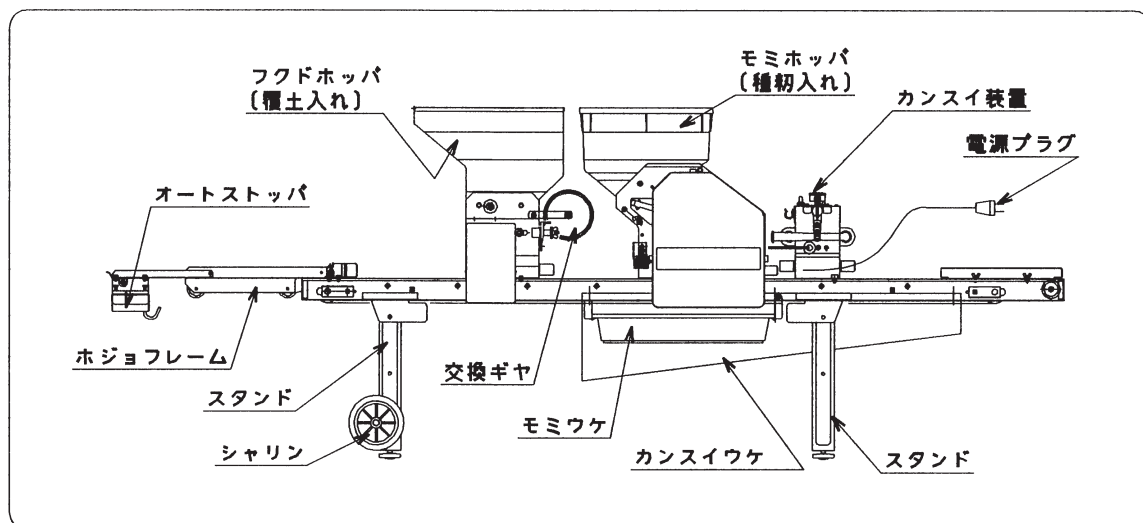
4. 注意ラベルとその取り扱い



◆ 注意ラベルの取り扱い

- (1) ラベルがよごれている場合は石鹸水で洗い、やわらかい布でふいてください。
- (2) 破損や紛失したラベルは購入先で購入し、とりかえてください。
- (3) ラベルが貼り付けられている部品を交換する時は、ラベルも同時に交換してください。

1.仕様と各部の名称

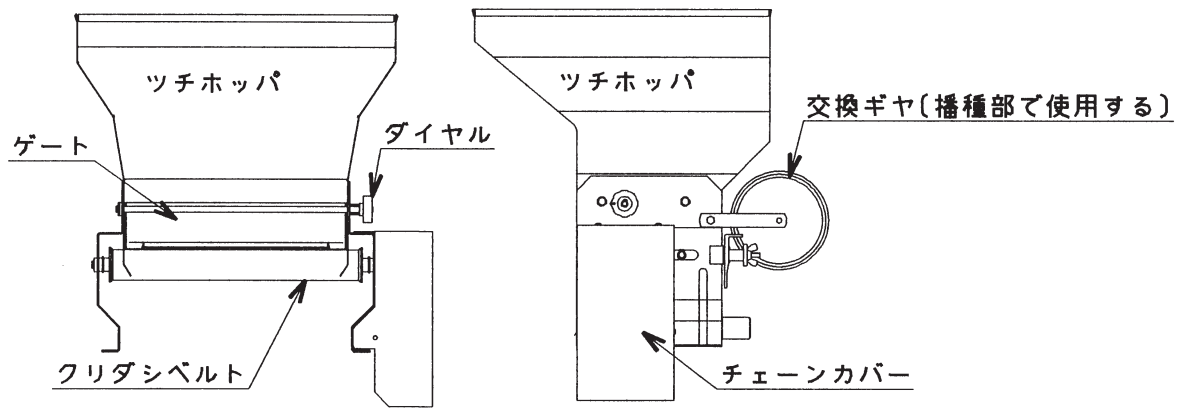


仕上がり ← 覆土 ← 播種 ← かん水

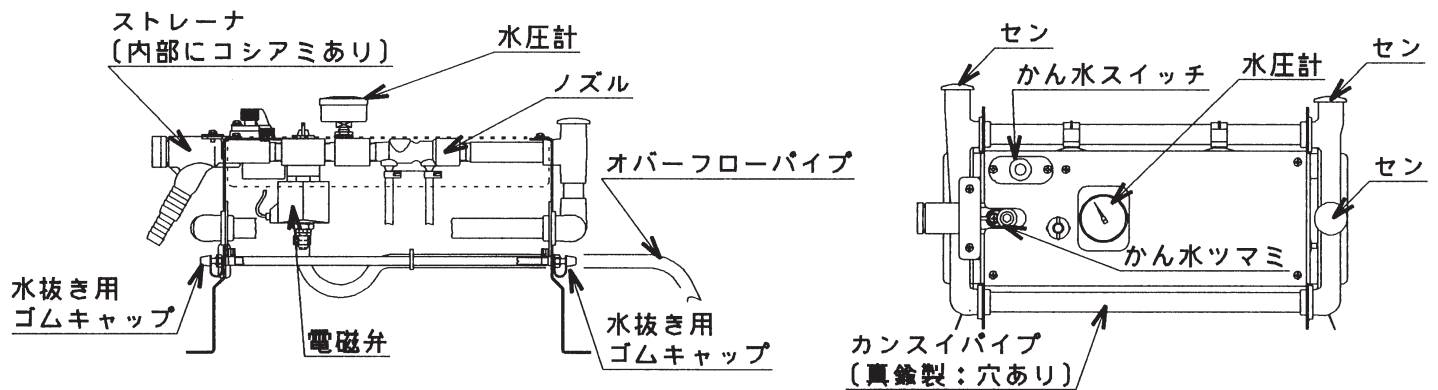
仕様

型 式			H K 1 7 0 B
搬送部	機体寸法 (mm)	全 長	2 6 0 0(格納時 : 2079)
		全 幅	5 2 0
		全 高	9 6 0
質 量 (kg)			5 2
初ホッパ容量 (リットル)			2 4
土ホッパ容量 (リットル)			2 6
播 種 量 (g)			8 0 g ~ 2 5 0 g
駆 動 方 式			駆 動 モ ー タ (AC100V,40W,1/180)
能 率 (50/60Hz) (連続作業)			低速 : 120/140 箱/時 高速 : 160/200 箱/時

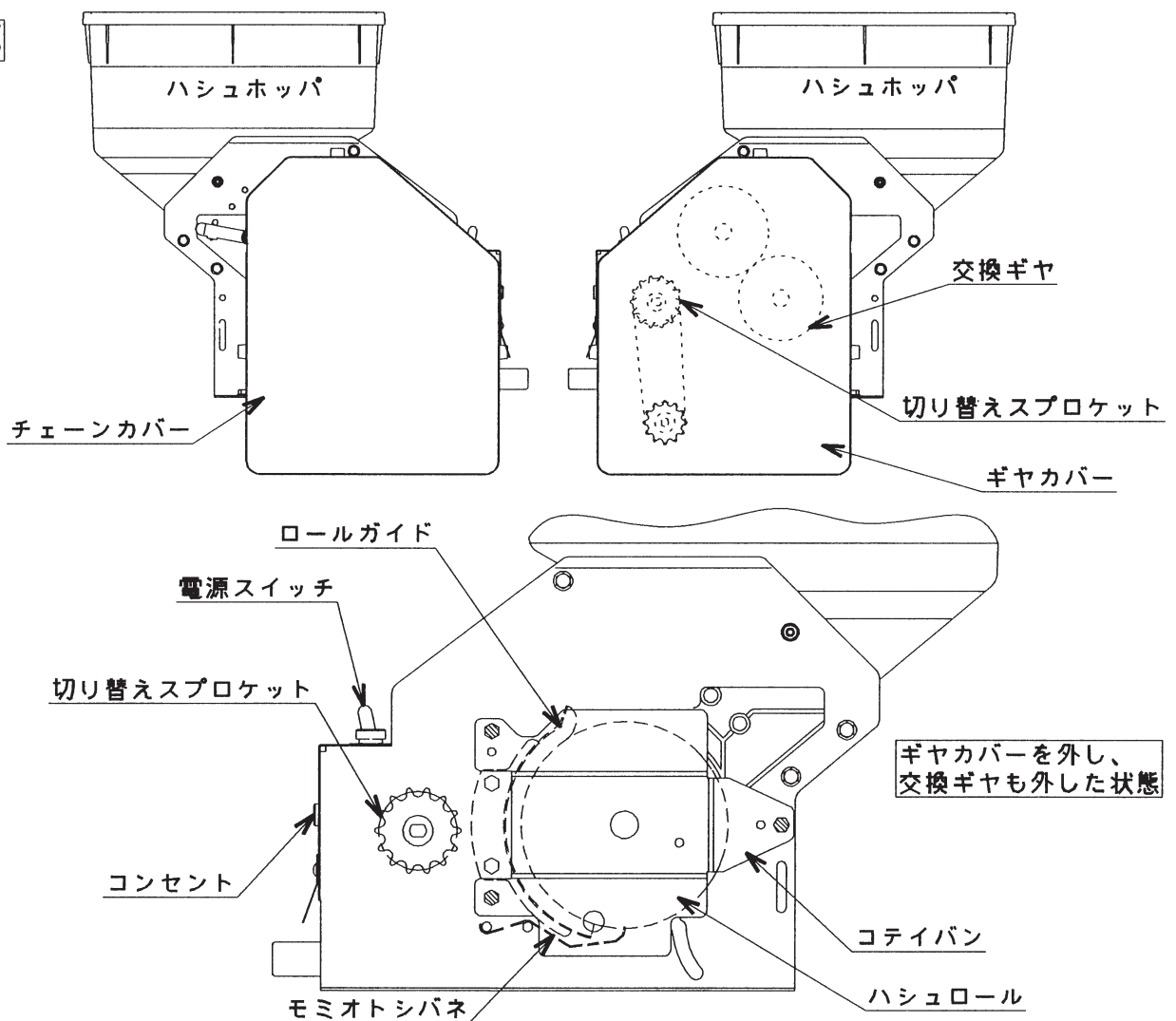
覆土部



かん水部



播種部



2. 組立要領

① スタンドの組立て

- ・ 梱包から本機を取り出し、たたんであるスタンドを開きます。
附属のチョウボルトを使い、4ヶ所しっかりと固定します。

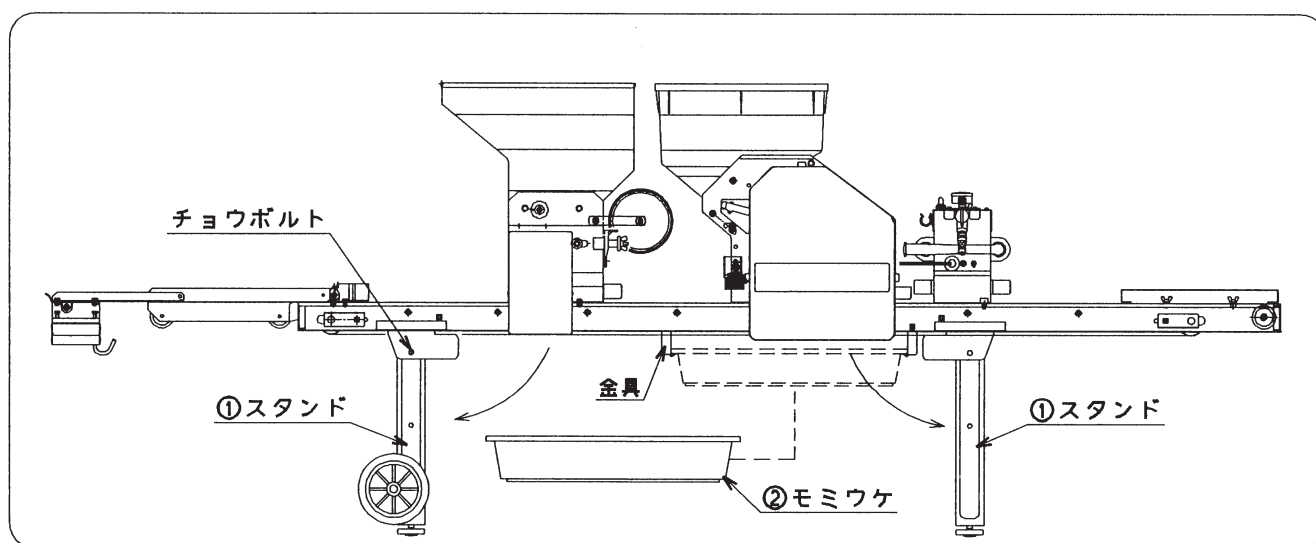


警告

機体は重いので、固定するまでは機械をゆらさぬ様
注意しながら作業してください。〔転倒によるケガ〕

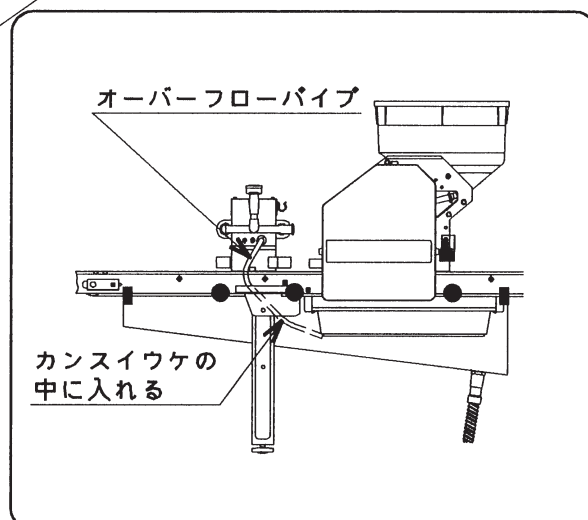
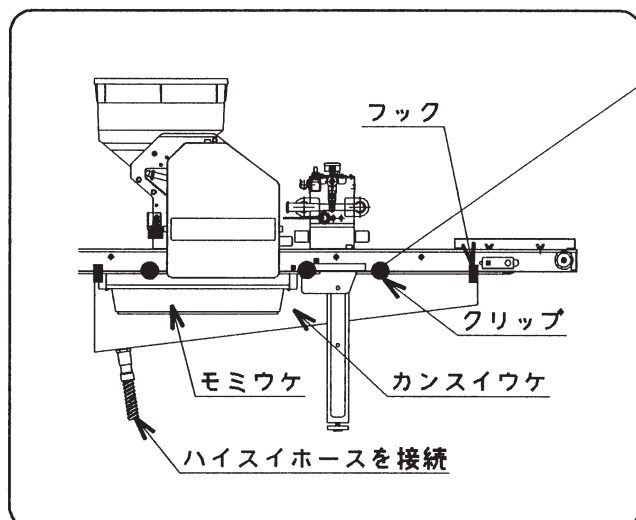
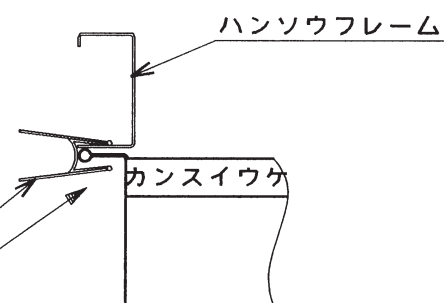
② モミウケの取り付け

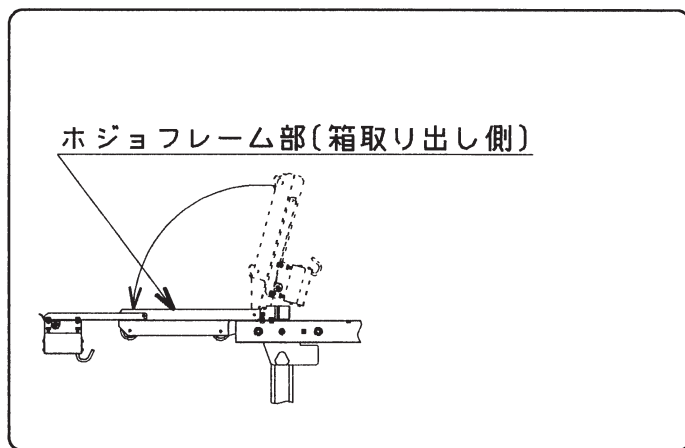
- ・ 播種部の下にモミウケを取り付けます。
入りにくければ、金具を少し動かしてください。



③ カンスイウケの取り付け

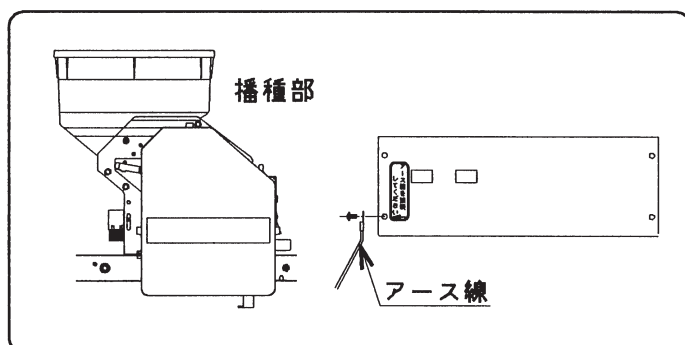
- ・ カンスイウケをフック、クリップで取り付けます。クリップ
クリップは図の●位置で止めます。
オーバーフローパイプはハンソウフレームの外側から
カンスイウケの中に差込みます。





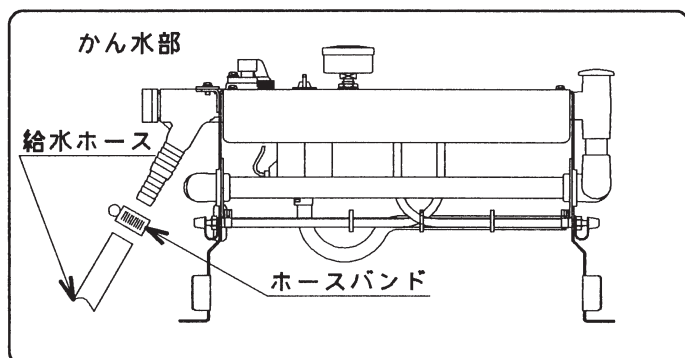
④ ホジョフレームの展開

- ・ホジョフレームを図のように展開します。



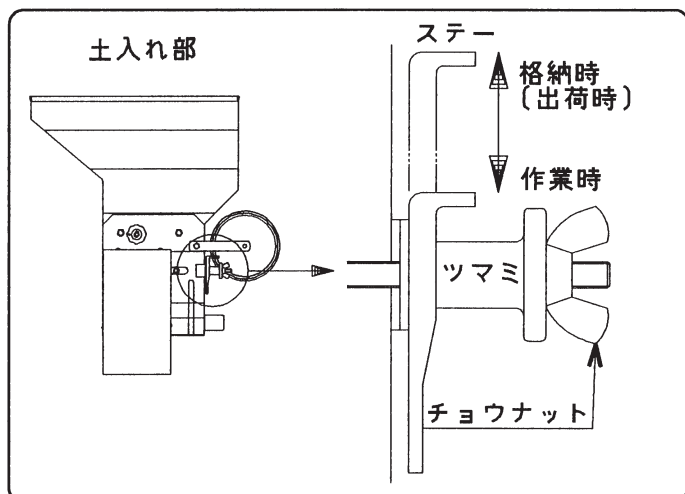
⑤ アース線の接続

- ・播種部の指示位置にアース線を接続して地面へ接地してください。



⑥ 給水ホースの接続

- ・かん水装置に水道またはポンプから給水ホースを接続します。
ホースは糸入りの耐圧ホースで内部に汚れないものを推奨します。



⑦ クリダシベルトの張り方

- ・作業時は左右のステアを押し込みクリダシベルトを張ります。
〔出荷時はベルトを緩めています〕
- ・格納時は左右のステアを引き上げクリダシベルトの張りを緩めます。
- ・作業時クリダシベルトの張りが弱くスリップする場合はチョウナットを緩めてつまみを回して左右均等に張り、チョウナットでロックします。

3. 作業前の準備

(1) 資材所要量の計画 ----- 下表を参考にして10アール当りの所要量を算出します。(一般的数値)

設定値			稚 苗 の 場 合						中 苗 の 場 合					
	条 間	c m	3 0						3 0					
	株 間	c m	1 2	1 3	1 4	1 6	1 8	2 1	1 2	1 3	1 4	1 6	1 8	2 1
	植 付 株 数	株/坪	9 0	8 5	8 0	7 0	6 0	5 0	9 0	8 5	8 0	7 0	6 0	5 0
	1 箱 の 苗 の 植 付 株 数		1 5 0 8 株 (横 2 6 回 × 縦 5 8 回)						7 8 0 株 (横 2 0 回 × 縦 3 9 回)					
必要量 10a	1 箱 あ た り の 量		床 土 3.3 ㍓ 覆 土 1 ㍓ 種 初 0.2kg						床 土 3.3 ㍓ 覆 土 1 ㍓ 種 初 0.1kg					
	育 苗 箱	箱	1 8	1 7	1 6	1 4	1 2	1 0	3 5	3 3	3 1	2 7	2 4	1 9
	床 土	㍓	6 0	5 6	5 3	4 6	4 0	3 3	1 3 3	1 2 6	1 1 8	1 0 3	9 2	7 2
	覆 土	㍓	1 8	1 7	1 6	1 4	1 2	1 0	3 5	3 3	3 1	2 7	2 4	1 9
10a	選 別 後 の 種 初	k g	3.6	3.4	3.2	2.8	2.4	2.0	3.5	3.3	3.1	2.7	2.4	1.9

(2) 資材の選定

床土用土	◇水稲用人工培土を推奨します	◇適度に乾いた土…含水率で20%前後 * 乾き過ぎると水引きが悪くなり 湿り過ぎると床土部から供給できなくなる 土質に合せた適切な水分量に調整する
	◇pH4.5～5.5の酸性土壌	
	◇砕土された土…4～6mm目のフルイを通る	
	◇透水性と保水性のよい水田の土もしくは山土 ○適した土：砂壤土、壤土、埴壤土 × 適せぬ土：砂土、埴土、畑土、雑菌の多い土	

覆土	◇水稲用人工培土を推奨します
	◇よく乾いた土…含水率で13%前後
	◇砕土された土…4～4.5mm目のフルイを通る

育苗箱	◇プラスチック製が原則
	◇箱の種類をそろえる・・・機械の再調整が必要
	◇歪み、そりが少ない事・・・機械が対応できず

(3) 種もみの準備

重要 ●脱芒

播種精度を確保するため脱芒機を使って芒、枝梗をとります。
〔スズテック脱芒機：SD-38,SD-70,SD-170をご使用ください〕

重要 ●比重選別

良い種初をえらぶために比重選別をおこないましょう。
比重液のつくりかたは右図参照。

●消毒：種子消毒をおこないましょう。
〔地区の育苗指針に沿う〕

重要 ●侵種、催芽

催芽は芽が出る手前が播種機には最適です。〔はとむね催芽〕
芽の伸びすぎは播種精度を悪くし、出芽の障害にもなります。

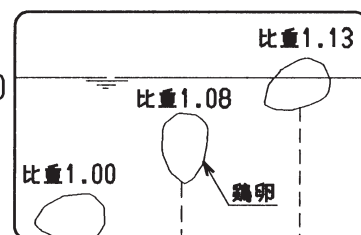
重要 ●水きり

催芽した種初は、播種機にいれる前に十分に水きりをします。
種初をつかみ開いた時に手の平につかない程度にかけ干します。

※方法

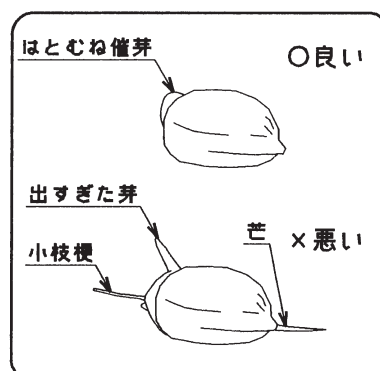
アミ袋にいれ、洗濯機の脱水槽の利用やムシロで陰干してください

比重液のつくり方



	も ち	う る ち
食塩の場合	約1.4kg	約2kg
硫酸の場合	約2kg	約3kg

※水10リットル当りの量



4. 試運転と調節

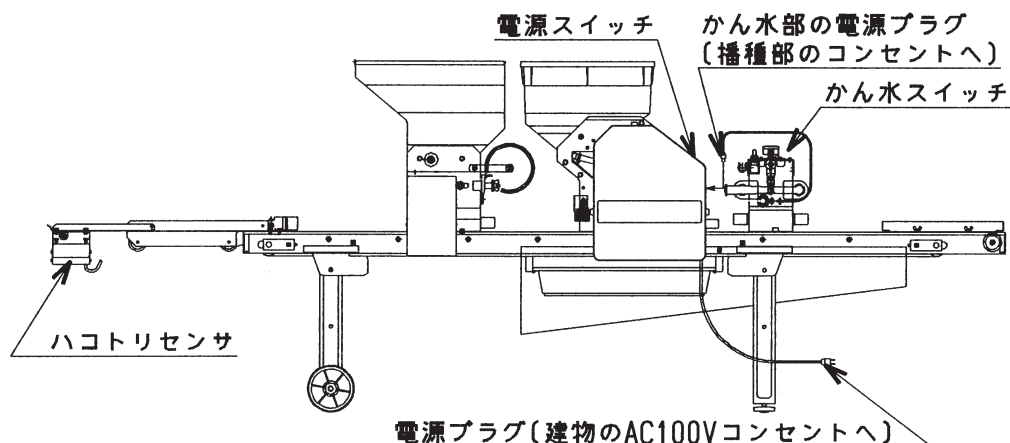


警告

試運転は一人で行います。二人以上ですと、予期しない時に機械が動き危険です。

① 機能確認

- ・実作業の前に、播種機各部の動きを確認します。異常があれば巻末の「故障の診断と処置」をみます。



電源プラグを建物の AC100V コンセントに差し込む。

- (1) 電源スイッチを「ON」 : 搬送部：ブイベルトが動く
播種部：ハシュロールがまわる
覆土部：クリダシベルトがまわる
- (2) かん水スイッチを「出」にし、水道の蛇口を開き
かん水ツマミを開く : カンスイパイプより水が出る
- (3) ハコトリセンサを押す : 全て停止する
水はオーバーフローパイプから出る

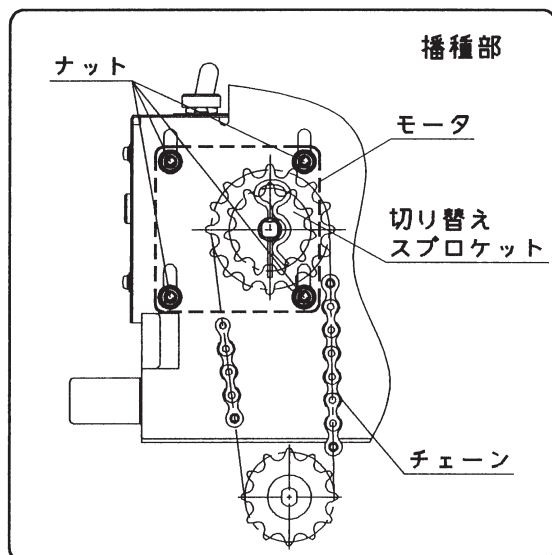
② 能率の切り替え

- (1) 播種部のギヤカバーをはずしナット4ヶ所をゆるめます。
- (2) チェーンの張りをゆるめてチェーンを外し、切り替えスプロケットを組替えます。
- (3) 切り替えスプロケット組替え後、元通りに組み付けチェーンを張ります。



警告

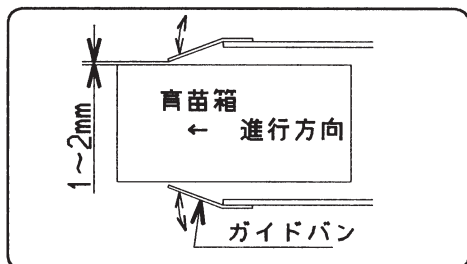
能率の切り替えは必ず電源スイッチをOFFにして、電源プラグをコンセントから抜いて行うこと。



〈低 速〉		〈高 速〉	
11T		16T	
モータ		モータ	
50Hz 120箱/時		50Hz 160箱/時	
60Hz 140箱/時		60Hz 200箱/時	

③ 各部の調節

- ・育苗箱を準備し土や糞をホッパに入れて、実際に育苗箱を通しながら調節します。



(1) ガイドバンの調節

空の育苗箱を通しながらガイドバンのすきま調節をします。
育苗箱が播種機の中央にくるように左右のガイドバンを寄せます。
育苗箱とのすきまは1~2mmが適当です。
〔かん水・覆土部〕

(2) かん水量の調節

- ・床土へのかん水量は、土の種類や乾燥状態、育苗箱の種類などにより異なります。かん水量の調節が十分にされていないと、湿害や水不足により出芽、成育に支障をきたします。特に以下の点に注意してください。

1. 床土の水分

土の限界含水分量を100%とした時、種が出芽する時の適当な水分は90~100%ですので乾いた土は多めに、湿った土は少なめにかん水します。かん水量が多くなると湿害をおこし、水不足は根の根あがりをまねきます。
床土は吸水性と保水性の良い土を使用して下さい。床土の乾き過ぎて水が浸透しない場合は、播種前に土に水分を加えて再調合してから播種作業に入ってください。

2. 箱の種類

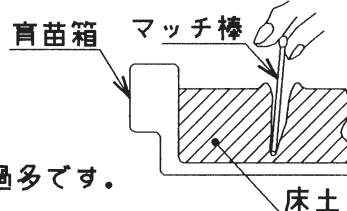
木箱の場合は木材が水を吸収しますので、やや多めのかん水が必要です。

3. かん水量の確認

播種作業の前には、毎回実際に使用する土を使って、試験かん水をおこなってください。確認なしで作業に入ることは育苗上たいへん危険です。
かん水は覆土までに床土上面の水が浸透していること。

◇ 良いかん水状態とは？

かん水後3~5分たって水がやや落ち着いたとき
マッチ棒などで床土をほり、水の浸透状態を調べます。
この時、底の土に水がにじんでいる所と、そうでない所があるぐらいが良い。〔時間の経過によって水がゆきわたるぐらい〕床土がどろ状になっていれば、かん水過多です。



1) かん水つまみを全開にします。

2) 電源スイッチを「ON」、かん水スイッチを「出」にします。
〔かん水部の電源プラグは播種部のコンセントに差し込む。〕

3) 水道の蛇口を開きます。〔カンスイパイプから水がシャワー状に出る状態〕
※水道の蛇口を全開にするとホースが破裂する場合があります。

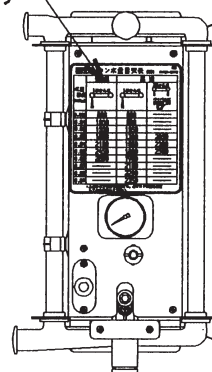
4) 床土の入った育苗箱を3箱程度かん水部に通し、実際にかん水します。

5) 水の浸透具合をチェックします。

6) 過不足があればかん水つまみを調節して、良いかん水状態になるまで繰り返してください。〔床土の質にあったかん水量を決めてください〕

☆例として50Hz地区能率高速1 本かん水で1100ccかん水とします。
水道の蛇口の開き具合を調節して水圧を0.03~0.04MPaに合わせます。
次にかん水つまみを少し閉めて水圧を0.02MPaに調節します。

カンスイメイバンを貼り付け



補足

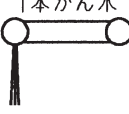
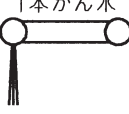
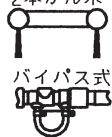
ガムテープなどを底に貼り3~5Kg程度のオモリを入れた育苗箱を播種機に通して、受けた水の量を計れば実際に供給する量が測れます。重量計では1g/1ccで換算できます。

※カンスイメイバンは付属品の中にあります。〔取扱説明書の袋〕

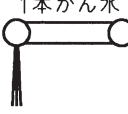
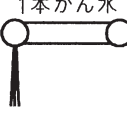
使用される地区(電源周波数 50Hz, 60Hz)に合わせて、かん水部のカバーに貼り付けてください。

かん水量目安表

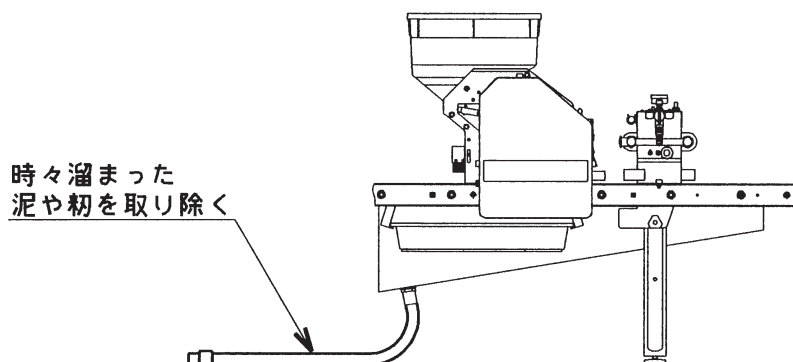
50Hz用 (CC)

水圧 目盛 (MPa)	低 速	高 速	
	1本かん水 	1本かん水 	2本かん水 バイパス式 
0.005	800	600	—
0.01	1050	800	—
0.02	1550	1050	—
0.03	1800	1300	2050
0.04	2100	1550	2300
0.05	2450	1800	2500
0.06	2600	1900	—
0.07	—	2100	—
0.08	—	2200	—
0.09	—	2350	—

60Hz用 (CC)

水圧 目盛 (MPa)	低 速	高 速	
	1本かん水 	1本かん水 	2本かん水 バイパス式 
0.005	650	500	—
0.01	850	650	—
0.02	1300	950	—
0.03	1500	1100	—
0.04	1750	1300	1900
0.05	2050	1500	2100
0.06	2200	1600	2300
0.07	2400	1750	2500
0.08	2500	1850	—
0.09	—	1950	—

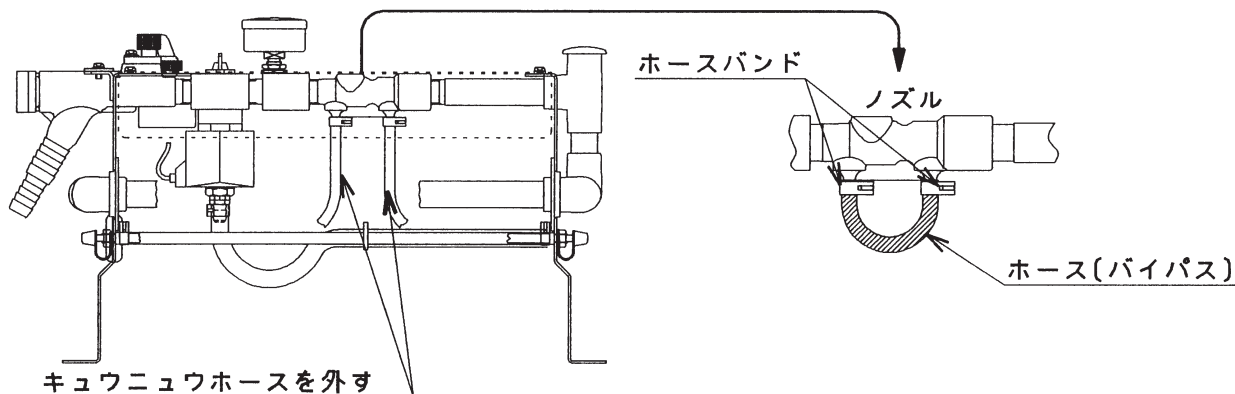
ハイスイホース内に泥や粉が溜まってくると排水し難くなり、カンスイウケに水が溜り落下する恐れがあります。時々ハイスイホース内の泥や粉を取り除いてください。



(3)人工マット（多水量）対応について

ノズルに接続しているキュウニュウホース(2本)を外します。

付属のホース(バイパス)を先ほどキュウニュウホースを外したノズルに図の様に接続します。キュウニュウホースに使用していたホースバンドで必ず抜け止めをしてください。



但し、上記方式ではオプションの薬剤ポンプは使用できません。

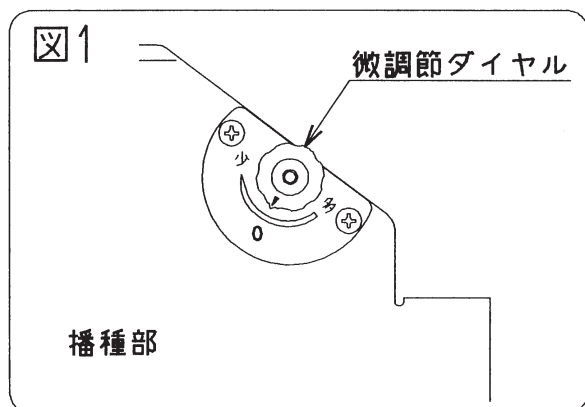
薬剤ポンプを使用される場合は「F4144-61141：ティアツノズルカンビ」を別途ご購入いただき、ノズルと交換してください。

(4) 播種量の調節

- ・播種量はギヤの組み合わせで決まります。下表より選択します。
出荷時は5段にセットしています

播種量目安表

		出荷時							
段		1	2	3	4	5	6	7	8
ギヤ 組合せ		40 66	44 62	47 59	51 55	55 51	59 47	62 44	66 40
播 種 量	9	80	100	120	140	160	190	220	250
	CC	130	160	190	220	250	300	335	370
	合	0.72	0.89	1.06	1.22	1.39	1.67	1.86	2.06



- 1) 微調節ダイヤルを「0」の位置に合わせます。
(図1)
- 2) 切換レバーを「標準籾」側にセットします。
(出荷時のままで結構です。
違っていれば出荷位置に戻します。)(図2)

- 3) 播種部のギヤカバーを外します。

- 4) 覆土部に収納された交換ギヤを
希望の播種量の組み合わせに交換します。
各交換ギヤに歯数が表示していますので
確認のうえ差し込みます。

(図3)

- 5) 必ずギヤカバーを元通り組み付けます。

- 6) 3～5Kgのオモリを入れた育苗箱を
3箱程度通し最後の箱で播種量を測定します。

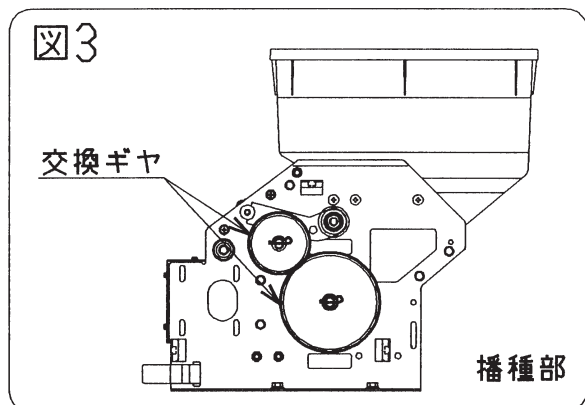
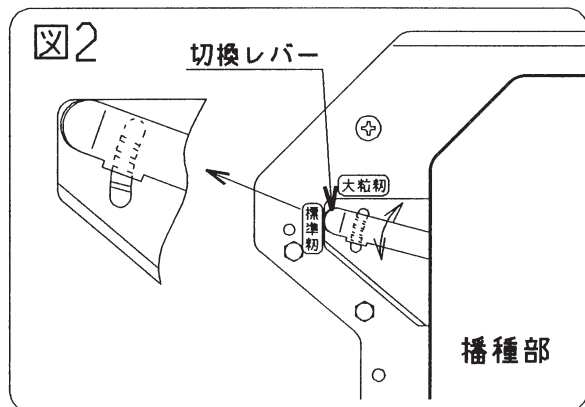
{播種量が希望通り出ない場合}

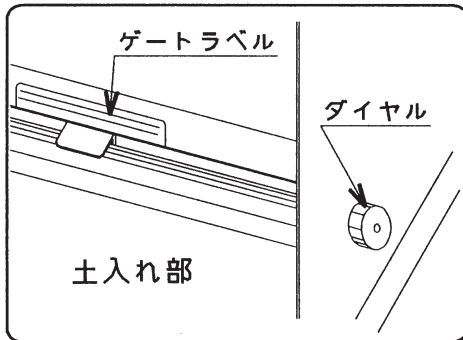
- 7) 10g前後の過不足なら、微調節ダイヤルを
「多」又は「少」側に回し
再度測定してください。

- 8) 20g前後の過不足なら、交換ギヤの
組み合わせを1段上げるか下げて
再度測定してください。

- 9) 種籾が酒米などの大粒籾の場合は
切換レバーを「大粒籾」側にセットします。
又、芽の出過ぎた籾、籾の流れが悪い場合も
この方法を使います。(図2)
P13「播種作業のこつ」を参照ください。

* 飼料米などの大粒で播種量が多い場合は
オプションの
「大粒米ロール」をご購入ください。





(5) 覆土量の調節

- ・ツチホッパのダイヤルをまわし、土の繰り出し量を調節します。種朶がかくれる程度が適当です。

補足 適正位置をゲートラベルにボールペン等で目印をつけておけば次回の参考になります。

各部の調節が終わりましたら、連続作業に入る前に4～5枚の箱を通し、最後の確認を行いましょう。特に初めての場合は必ず実行してください。

5. 作業

作業中に注意してほしいこと



警告

作業中、作業員以外の人は近付けないこと。
特に子供に注意！
カバー類は必ず取り付けて運転すること。
搬送部のベルトなどに触れないこと。
特に手袋は巻き込まれやすいので注意！

◇停電時の処置

電源スイッチを「OFF」にして
電源プラグを抜く。

◇異常時の処置

まず電源スイッチを「OFF」にして
電源プラグを抜き
P15「7.故障の診断と処置」をみて
異常原因を取り除く。

作業中に守ってほしいこと

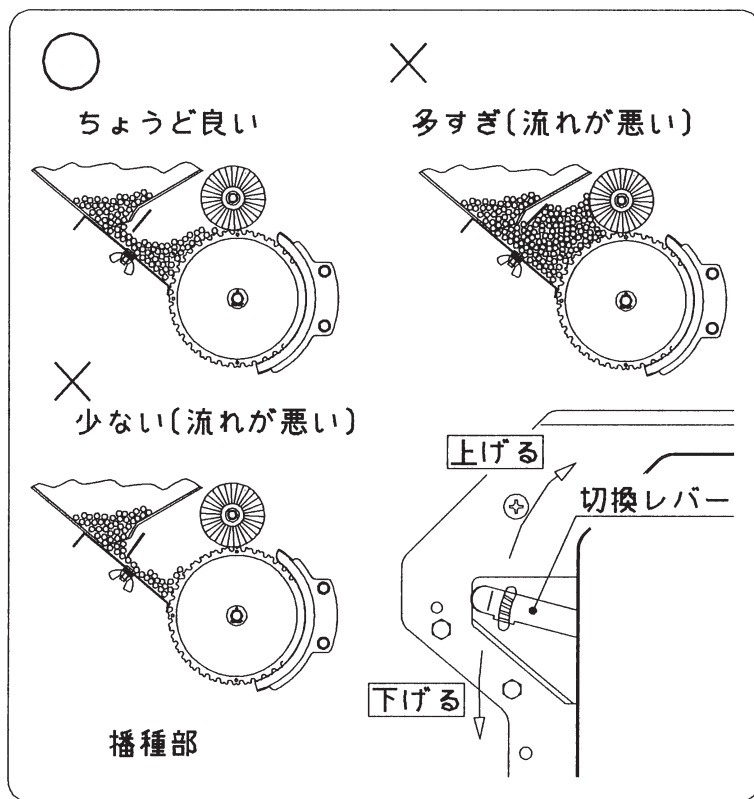
- (1) モミウケに入った籾は直接モミホッパに返さないこと。水洗いをして乾燥させてから入れること。
- (2) ツチホッパから下に落ちた土は直接ツチホッパに返さないこと。適度の乾燥と異物の混入がないか確認してから返すこと。
- (3) 土、籾量は作業中でも変化します。常に仕上がり状態に注意をはらってください。

☆播種作業のこつ

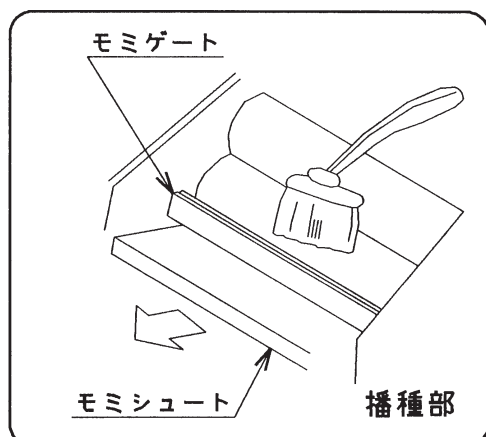
- (1) 播種精度を良くするためには籾がハシュホッパから適度な量で供給されることが大切です。籾の状態(乾き具合・芽の出具合など)や品種(粒の大きさ)により供給量が変わります。切換レバーを下げれば供給量が減り、上げれば供給量が増えます。

右図の「ちょうど良い」状態になる様に切換レバーの位置を調節します。

- (2) かん水部の位置を調節し、土表面の水が引くまぎわに籾を落とせば、良い播種状態が得られます。但し覆土までには表面の水が引いていること。



6. 作業後の点検と手入れ

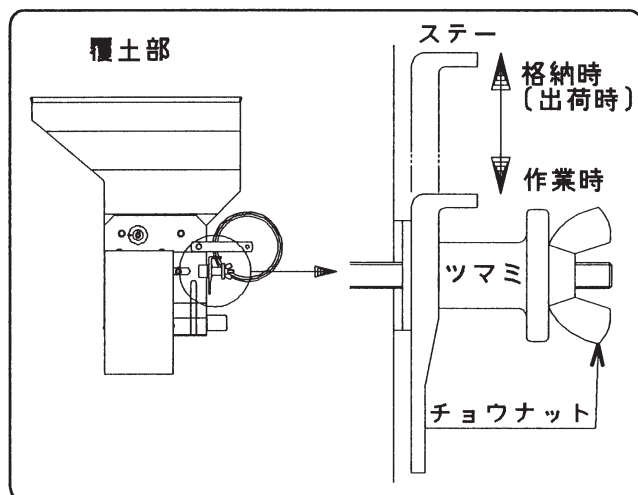


(1) 播種部の清掃

- ① モミシュート裏のチョウナットをゆるめ
モミシュートを引き出し、残った籾を下に
落とします。(モミウケに入れる。)
- ② モミホッパを外し、モミゲートを動かし
ながら付属のハケなどで籾を掃き出します。
この時、播種ロールを回転させながら
掃除すると簡単に出来ます。



- 警告**
- ・手は入れないこと！
巻き込まれや切りキズの恐れあり。
 - ・手袋、軍手はしないこと。

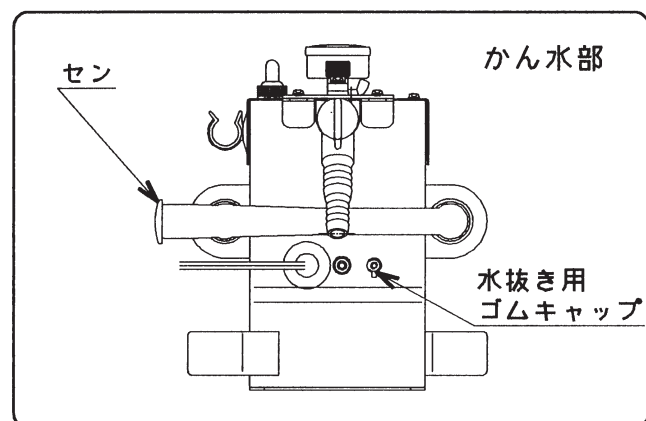


(2) 覆土部の清掃

- ① ツチホッパ内の土を
全部出します。
こびりついた土は水洗い可能ですので、
洗い流して下さい。
- ② フリダシベルトを長持ちさせるため、
ステーを引き上げ(格納時)でフリダシベルトの
張りをゆるめておきます。

重要

使用時にはステーを押し込み
フリダシベルトを張ってください。



(3) かん水部の手入れ

- ① かん水部内部に清水を通します。薬剤ポンプを
使用した場合は特に念入りに洗い流してください。
- ② かん水部のセンを抜き、水抜き用ゴムキャップを
外し、内部の水を完全に抜きます(凍結防止)。
- ③ カンスイパイプを外し、付属のパイプクリーナーで
内部を掃除します。
- ④ 元通り組付けます。



警告
モータ部、スイッチ部は水をかけないこと！

(4) その他

- ① チェーンやジクウケにはグリスをさしておきます。
- ② 傷んだ部品は次のシーズンのために、交換してから保管しましょう。

(5) 保管

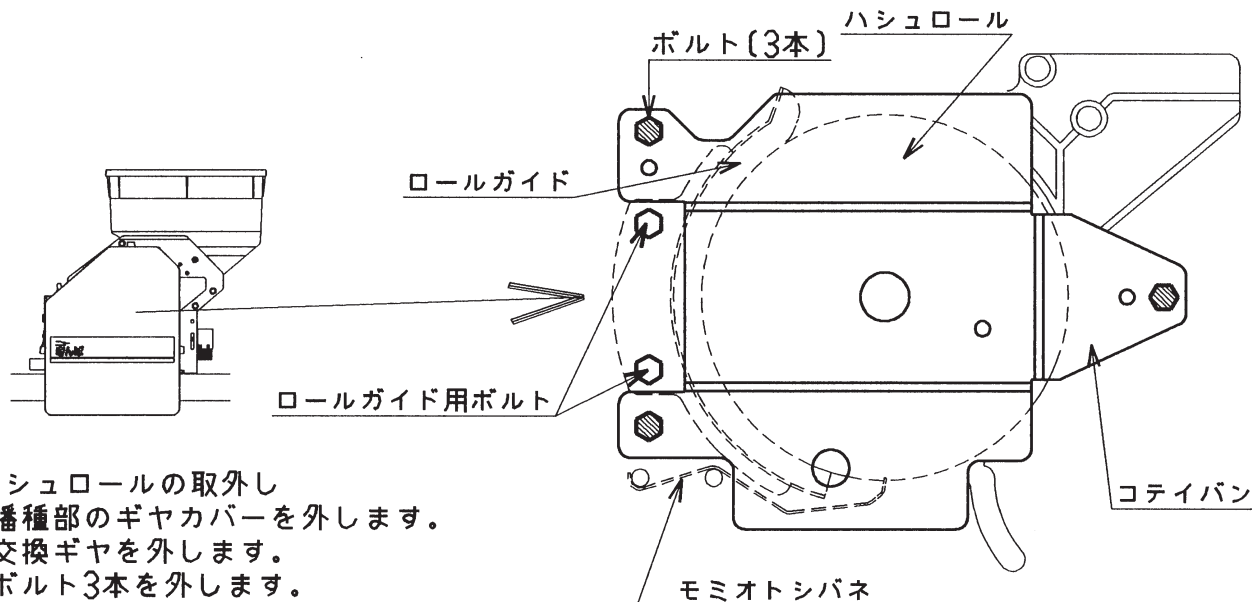
- ・直射日光のあたらない場所に、ホコリがかからないようにカバーをかけて保管してください。
特に、播種部にはネズミが入らないようにフタをするなど工夫をしてください。

※ ハシュロール・ロールガイドの取外し方

下記の方法でハシュロール・ロールガイドを取外すことができます。
ハシュロールの清掃やオプション「大粒米ロール」との交換、
ロールガイドの消耗具合の点検や交換が容易にできます。

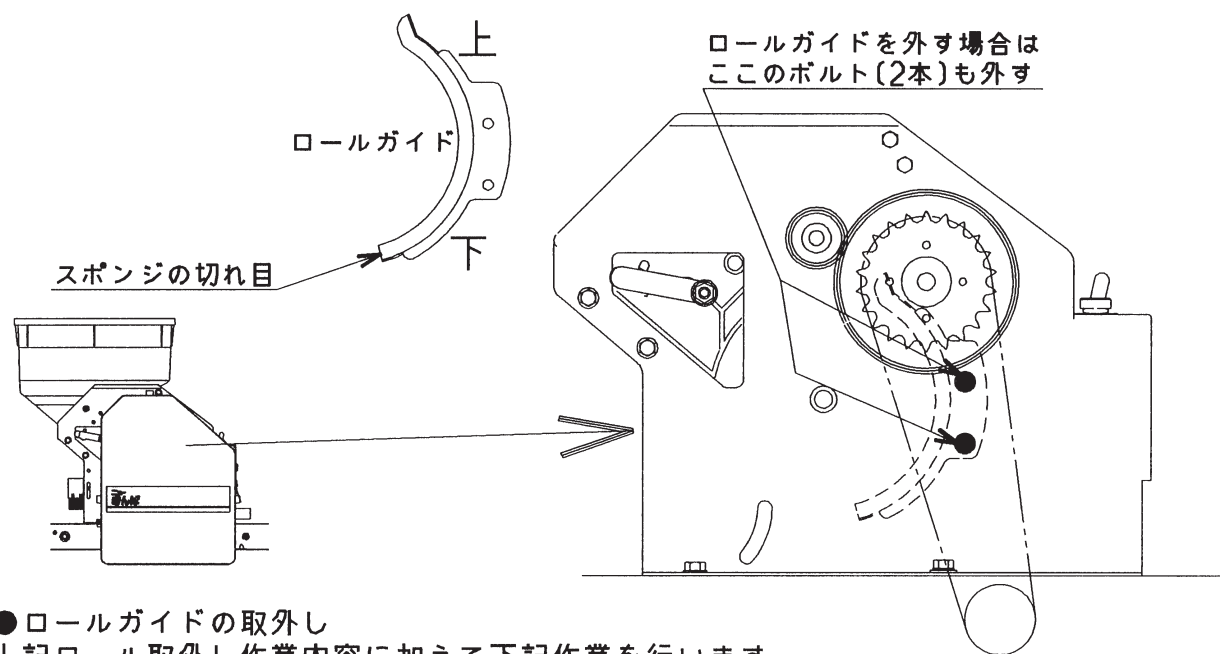


警告
必ず電源スイッチは「OFF」にして電源プラグを
コンセントから抜いてから作業をおこなうこと。



●ハシュロールの取外し

- ① 播種部のギヤカバーを外します。
- ② 交換ギヤを外します。
- ③ ボルト3本を外します。
- ④ コティバンを手前に外します。
- ⑤ ハシュロールを軸ごとぬきます。
- ⑥ ハシュロールを交換、又は清掃を行い、終われば逆の手順で組付けます。
〔ハシュロールとロールガイドに隙間が無いように組付けます。〕



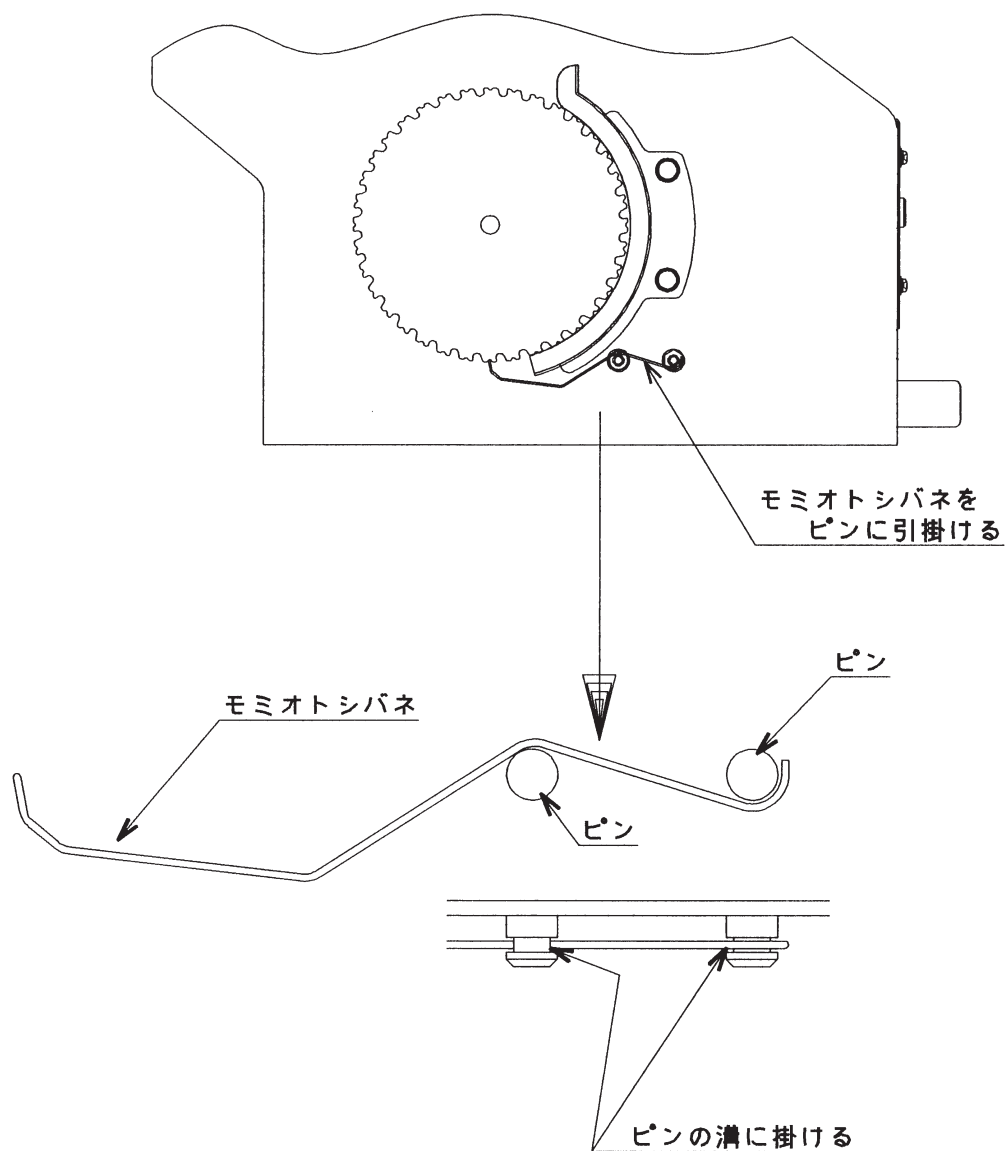
●ロールガイドの取外し

上記ロール取外し作業内容に加えて下記作業を行います。

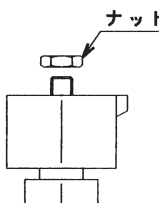
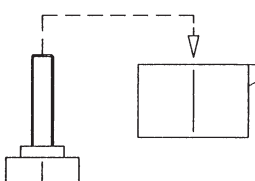
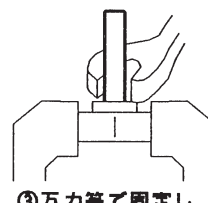
- ① 上記作業項目の⑤まで行う。
- ② ロールガイド用ボルト2本を外します。
- ③ 播種部のチェーンカバーを外します。
- ④ 上図位置のボルト2本を外します。この段階でロールガイドが外れます。
- ⑤ 新しいロールガイドを外した作業と逆の手順で組付けます。
但しロールガイドのボルトは仮止めとします。
- ⑥ コティバンを組付けた段階でロールガイドをロールに
押し付けて固定します。〔ハシュロールとロールガイドに隙間が無いように組付けます。〕

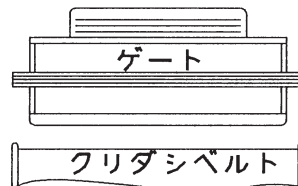
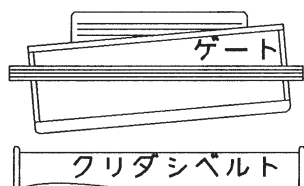
※ モミオトシバネの取り付け方

- ・モミオトシバネ(針金状)が外れたり、交換する場合は下図のように取り付けてください。



7. 故障の診断と処置

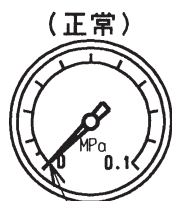
現象	原因	処置
モーター動かない	(1)電源プラグの入れ忘れ。 (2)電源スイッチが「ON」になっていない。 (3)ハコトリセンサの上に育苗箱がある。	(1)電源プラグをコンセント入れる。 (2)電源スイッチを「ON」にする。 (3)ハコトリセンサ上の育苗箱を取り除く。
播種ムラになる	(1)種初処理が適切でない。 ①枝梗が付いている。 ②芽が出過ぎている。 ③種初が湿っている。 (2)ハシュロールが湿っていて種が付着する。 (3)初の流れが悪い。 ・湿っている。・芽が出過ぎている。 ・枝梗が多い。・初が大粒。 (4)ハシュロールの回転ムラ	(1)以下の処理をする。 ①枝梗が付いている種初を取り除く。 ②陰干しをする。 (2)ハシュホッパ内の種初をいったん取り出しハシュロールを乾いた布で清掃する。 品種切り替え時、作業終了後必ず清掃してください。 (3)P13「播種作業のこつ」参照 (4)回転部に注油する。 ①軸と軸受けブッシュ部 ②各部チェーン
水が出ない、水の出が悪い	(1)電源スイッチが「ON」になっていない。 (2)かん水スイッチが「出」になっていない。 (3)水道の蛇口が開かれていないか、かん水ツマミが開かれていない。 (4)ストレーナの目詰まり。 (5)カンスイパイプの目詰まり。 (6)ノズル内にエアが入る。 (7)電磁弁が作動しない。	(1)電源スイッチを「ON」にする。 (2)かん水部の電源プラグを播種部のコンセントに接続し、かん水スイッチを「出」にする。 (3)水道の蛇口、かん水ツマミを開く。 (4)ストレーナを清掃する。 (5)付属のパイプクリーナーでカンスイパイプ内を清掃する。(水道ホース内の水アカを取除くか、新しいホースを使用ください) (6)薬液吸入口、水抜口にゴムキャップをする。 (7)電磁弁を分解して内部のゴミなどを取除く。
電磁弁の分解整備方法  ①ナットを外します。  ②黒い樹脂部を外します。  ③万力等で固定しモンキーレンチでパイプ部を外します。 スプリング  フランジャー  ④内部からフランジャー、スプリングが出てきます。よく水洗いしてください。 ⑤フランジャーからゴムパッキンが飛び出していれば押し込みます。 ⑥元通り組立てます。		
土が均一に出ない	(1)土が湿っている。荒い。 (2)ゲートが左右平行に開いていない。 (チョウセツジクとラックのずれ)	(1)土を乾燥させ、フルイにかける。 (2)チョウセツジクを抜きゲートラベルを参考に正しく組み直す。



水圧計の針が「0」に戻らない場合の対処方法

{原因}

- ・ かん水部（水圧計）内部に残った水が冬季凍結した。
 - ・ 急激に高い水圧がかかった。
 - ・ 落下等の大きな衝撃が加わった。
- これらが原因となり、内部の部品が変形した。



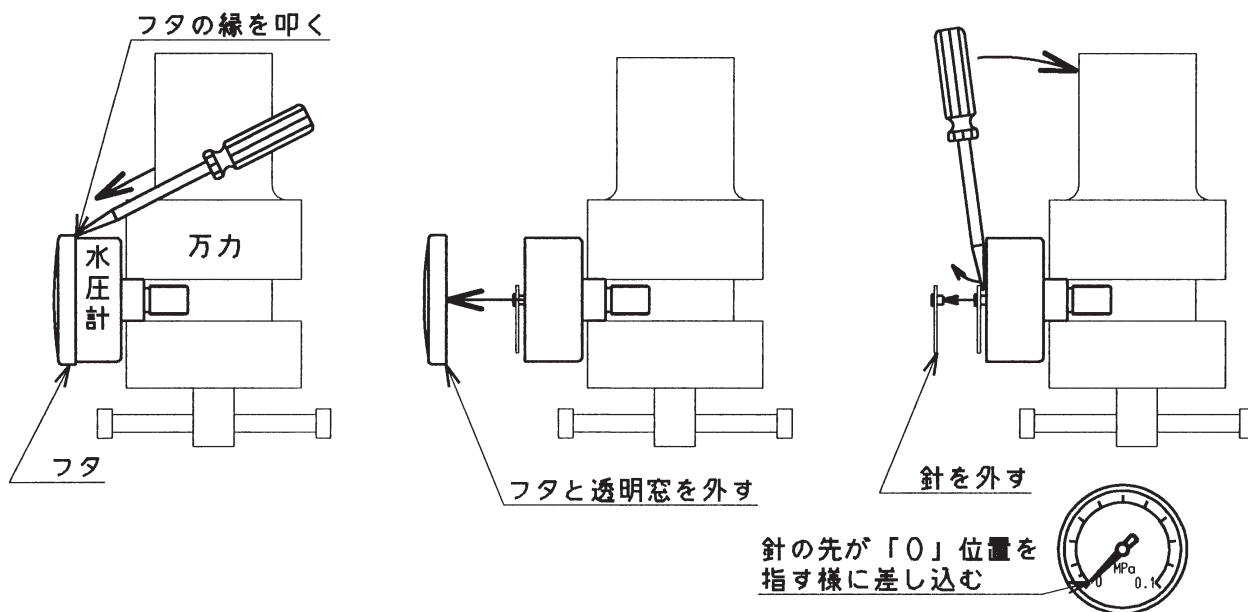
針が「0」に戻っている



針が「0」に戻っていない

{修復方法}

1. 水圧計をかん水部から取り外す。
2. 万力等で水圧計をしっかり固定する。
3. マイナスドライバーなどの先を水圧計のフタの縁に当ててハンマーで軽くマイナスドライバーを叩きフタをずらしていく。
叩くのは1箇所ではなく、円周上数箇所平均に叩くこと。
4. フタと透明窓を外す。
5. 針をマイナスドライバー等でこじて抜く。
6. 針の先が「0」になる位置で、再度針を差し込む。
7. フタと透明窓を元通り水圧計本体にはめ込む。



* この修復方法はあくまでも「応急処置」です。

「針飛び」は水圧計内部部品の変形が主な原因です。

この場合、針を「見かけ上」0位置に戻しても正確な水圧測定は不可能です。
新しい水圧計を御注文・交換して頂く事をお奨めします。

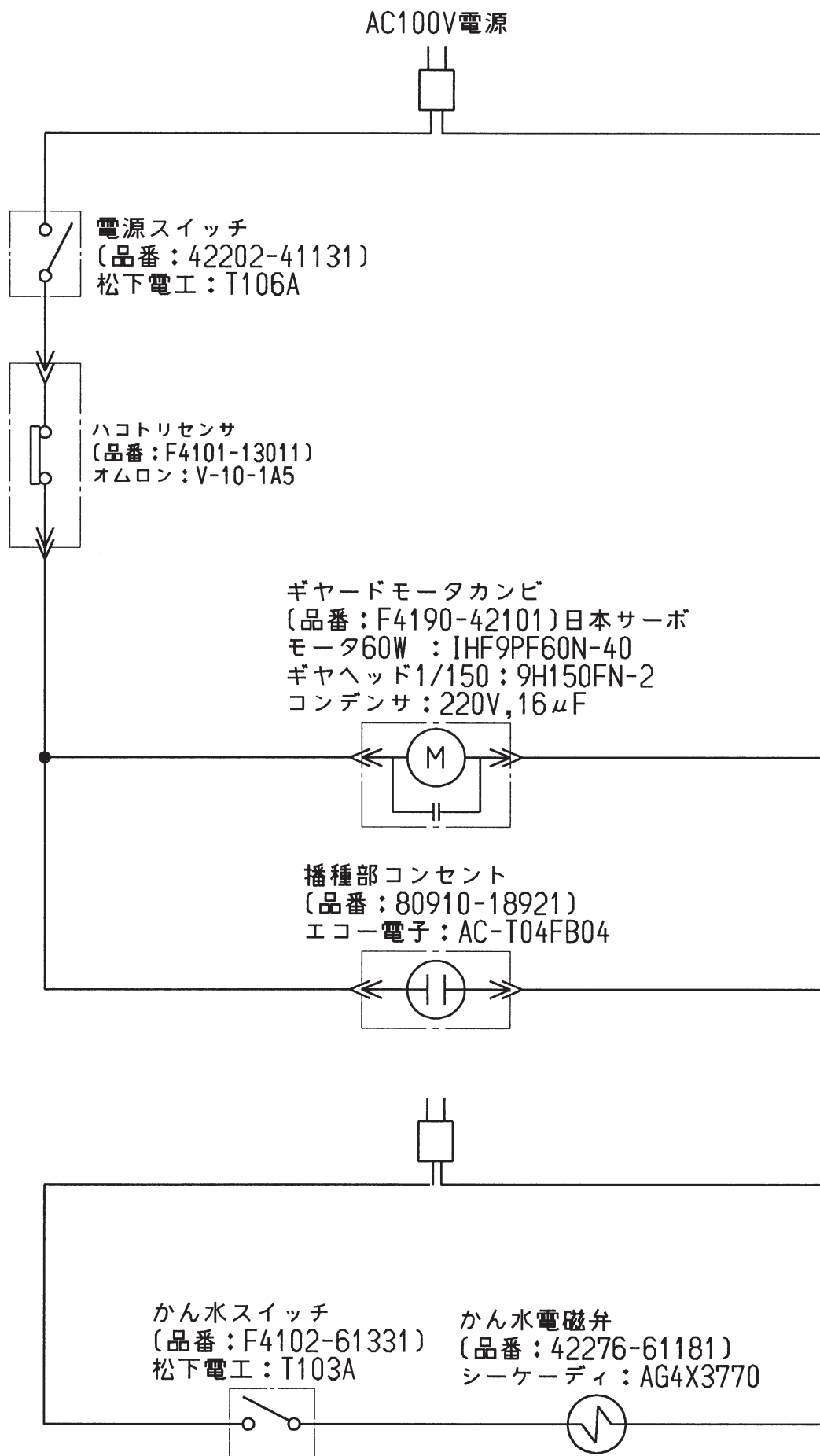
品番：F4147-71201

品名：プレッシャーゲージカンビ

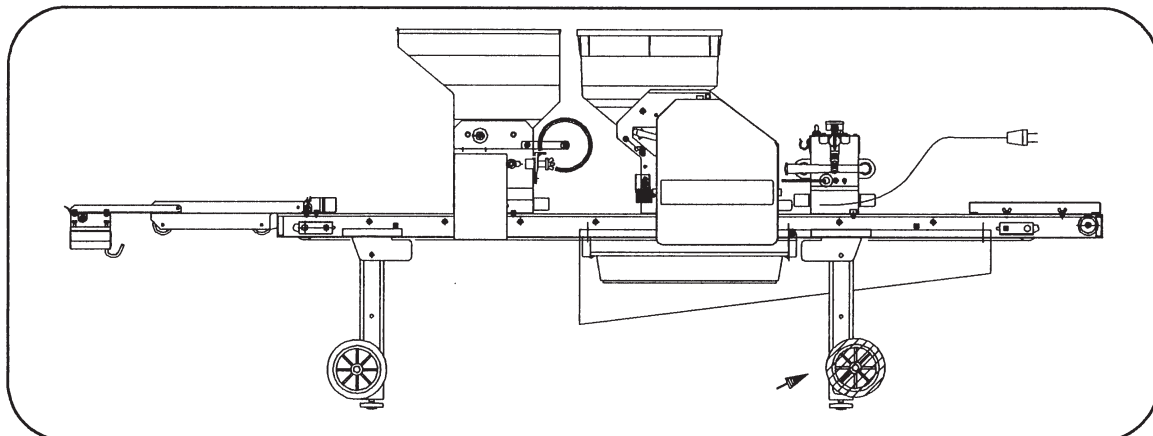
尚、「針飛び」を防止する為には以下の点に注意してください。

- ・ 作業後かん水装置内の水はよく抜き、凍結の恐れがある地区ではかん水装置を室内等で保管されることをお奨めします。
- ・ 水道の蛇口はゆっくり開き水圧計に急激に水圧がかからない様に調節してください。

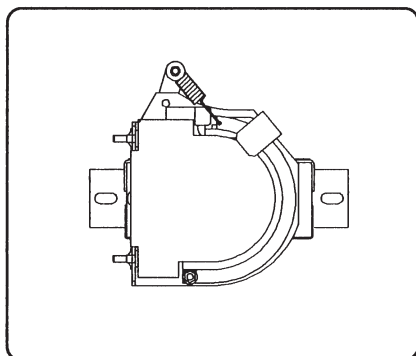
8. 電気回路図



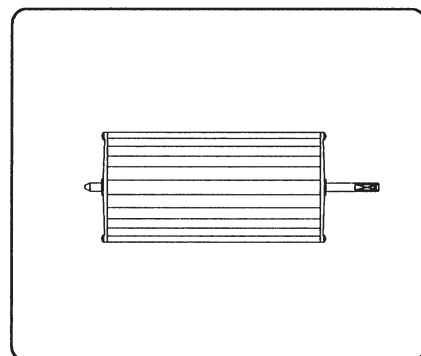
9. オプション紹介



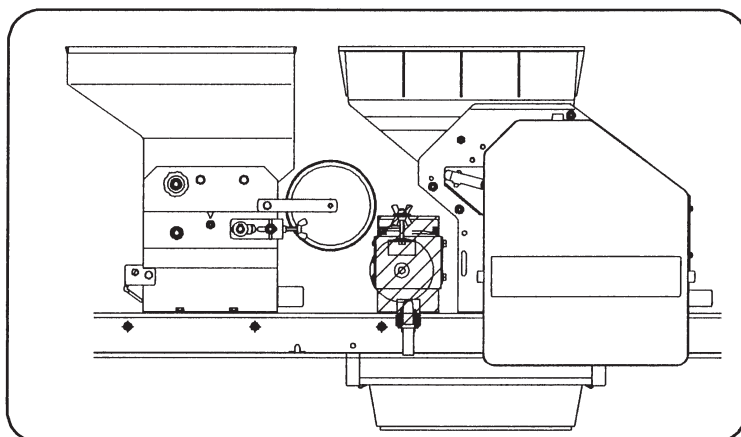
① キャスター
CR-10
播種機移動用車輪



② 薬剤ポンプ(SS-DP285S)
かん水と同時に薬剤散布します
(ダコニール剤など)



③ 大粒米ロール(SS-KR165S)
飼料米などの大粒・多播種量用



④ 回転ブラシ BC-7
初落とし用回転ブラシ

10. 健苗移植のための播種量、かきとり量、一株本数、所要箱数 早見表																	
うすまきオート播種機用										植付密度と10a当たりの所要箱数							
苗	播種量(乾粕)			播種量(催芽粕)			苗立ち	田植機力キトリ		植付本数 本／株	株間						
	g	cc	合	粒数	g	cc		合	粒数		本／箱	縦	横	37株／坪 株間30cm	40株／坪 株間28cm	45株／坪 株間24cm	50株／坪 株間21cm
成苗	38	62	0.34	1491	50	80	0.44	1491	16回	平均 2.8	18mm	22	24	27	30	35	41
	45	74	0.41	1789	60	95	0.53	1789		平均 3.3	18mm	22	24	27	30	35	41
	53	87	0.48	2088	70	111	0.62	2088		平均 3.7	17mm	21	23	25	28	33	39
	61	99	0.55	2386	80	127	0.71	2386		平均 3.9	16mm	19	21	23	26	31	36
中苗	68	112	0.62	2684	90	143	0.79	2684	20回	平均 3.6	16mm	15	16	18	20	24	28
	76	124	0.69	2982	100	159	0.88	2982		平均 3.9	16mm	15	16	18	20	24	28
	83	136	0.76	3280	110	175	0.97	3280		平均 3.8	14mm	13	14	16	18	21	25
	91	149	0.83	3579	120	191	1.06	3579		平均 4.1	14mm	13	14	16	18	21	25
	98	161	0.90	3877	130	207	1.15	3877	26回	平均 4.1	18mm	13	14	16	18	21	25
稚苗	106	174	0.96	4175	140	223	1.24	4175	26回	平均 3.7	15mm	11	12	13	15	18	21
	114	186	1.03	4473	150	239	1.33	4473		平均 4.0	15mm	11	12	13	15	18	21
	121	198	1.10	4772	160	255	1.42	4772		平均 3.7	13mm	10	11	12	13	16	18
	129	211	1.17	5070	170	270	1.50	5070		平均 3.9	13mm	10	11	12	13	16	18
	136	223	1.24	5368	180	286	1.59	5368		平均 3.6	11mm	8	9	10	12	14	16
	144	236	1.31	5666	190	302	1.68	5666		平均 3.6	11mm	8	9	10	11	13	16
	151	248	1.38	5964	200	318	1.77	5964		平均 3.6	10mm	7	8	9	10	12	14
	151	248	1.38	5964	200	318	1.77	5964		平均 3.8	10mm	7	8	9	10	12	14
条件(本表の粕の状態):乾粕1000粒重＝25.4g(水分16%) 催芽粕1000粒重＝33.5g(水分28%) 苗立ち歩合は96%で計算																	
田植機の 縦かきとり量は 9mm, 10mm, 11mm, 12mm, 13mm, 14mm, 15mm, 16mm, 17mm, 18mm, の10段階																	

実り豊かな明日をひらく

株式会社 スズテック

〒321-0905 宇都宮市平出工業団地44-3
代 表／TEL.028(664)1111 FAX.028(662)5592
URL <http://www.suzutec.co.jp>